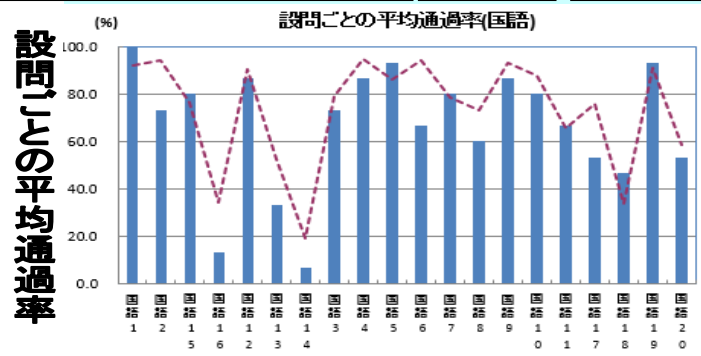
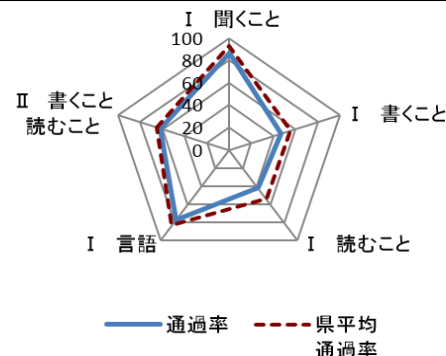


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校66.7%, 県73.6%)

対県比 90.6%

領域別平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 67.7%
全国 70.8%

対全国比 95.6%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 70.2%
全国 75.8%
県 76.5%

B問題

本校 65.2%
全国 65.8%
県 67.0%

本年度の結果について

○全体的な傾向
A 問題における書く能力に課題が大きい。
(正答率64.7%)
○昨年度の課題への取組の成果
昨年度、「読む能力」に課題があったが、文学的文章の人物の心情把握など具体的な指導を重ねたことにより、改善が見られた。(A 問題 3二 正答率96.7%)

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 105%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

タイプII 五 1 通過率53.3%
様々な資料を読み解き、効果的に活用する問題に課題がある。

【課題2】全国学力・学習状況調査

[国語A:主として知識] 4の一 正答率56.7%
棒グラフから分かる内容を正確に読み解き、伝えたい事実を明確に書く問題に課題がある。無答率も13.3%と高い。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

様々なタイプの資料から分かることや読み解く方法を、具体的かつ丁寧に指導するとともに演習を重ね、慣れさせる。資料を読み解くことで、課題解決につながることを実感させる。

【課題2】全国学力・学習状況調査

様々なタイプの資料から分かることや読み解く方法を、具体的かつ丁寧に指導するとともに演習を重ね、慣れさせる。資料を読み解くことで、課題解決につながることを実感させる。
さらに、読み取った内容を条件に従って適切に書く活動を設定し、繰り返し指導して定着を図る。

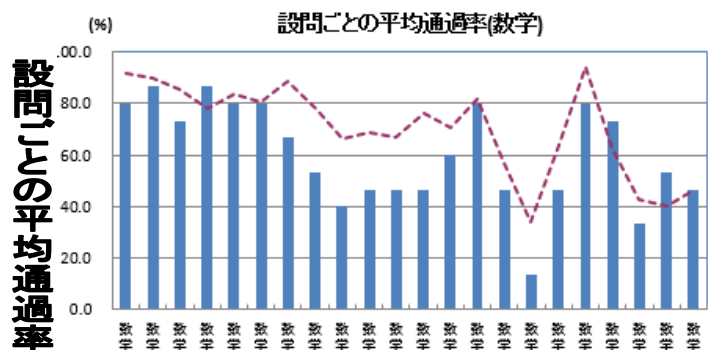
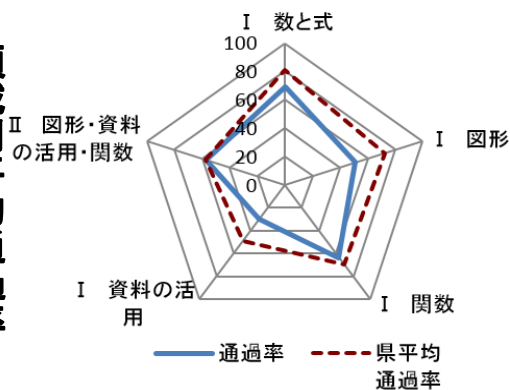
「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生期末試験		1年生 H27「基礎・基本」	1・2年生 学年末試験
目標値				60%		55%	70%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生期末試験	3年生学年末試験	2年生H27「全国学力・学習状況調査」	2年生学年末試験
目標値				65%	70%	65%	70%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 59.1%, 県 65.7%)

対県比 90.0%

領域別平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 60.0% 対全国比 85.2%
全国 70.4%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題	B問題
本校 51.7%	本校 31.7%
全国 64.4%	全国 41.6%
県 64.6%	県 42.7%

本年度の結果について

○ 全体的な傾向について
タイプIは、60.8% (昨年度 55.9%), タイプIIは57.3% (42.2%) の通過率となっている。その結果から、基礎的・基本的な力は昨年度より上がった。しかし、今年度も、全員が解けたという設問が1問もない。

○ 昨年度の課題への取組の成果
昨年度から、授業の成立を主に考え、ノート指導と副教材のワークで授業を行っている。さらに、個別にノート指導も行っている。授業は集中できるようになった。基本計算の復習や、数学の苦手な生徒への指導を引き続き行い定着させる。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 90.0%

重点課題

【課題1】大問5 小問 1 (領域: 図形)
円推の見取り図から、展開図のおうぎ形の半径を見つける問いで、見取り図の母線の値が正答となる。見取り図には他に円錐の高さと底面の半径の値が示されている。3つの値が与えられている。その値を選択した誤答より、計算した誤答が多い。(通過率 46.7%) 無答率 0%

【課題2】大問7 小問 1 (領域: 資料の活用)
10回シュートして決まった本数を度数分布表にしてあり、中央値を求める問いで、51人の真ん中が26番目の4本を求める。誤答に5, 6本と答えるものが多い。(通過率 13.3%) 無答率 6.7%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】
展開図や見取り図の授業では、立体模型を実際に触れ、立体の特徴を知ったり名前を覚えたりする。また、展開図を作図し、実際に立体を作成する活動も行っている。さらに、I T C器具を用いて、視覚的に立体と展開図を一致させ、対応する辺の値が、展開図からも見取り図から分かるように工夫する。

【課題2】資料の活用の内容は1年生の3学期に限られているが、基本的な内容も含めた復習プリントを定期的実施し、定着を図る。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験			2年生 H27「基礎・基本」	2年生 学年末試験	1年生 H27「基礎・基本」
目標値		75%			80%	80%	75%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験			2年生 H27「基礎・基本」	2年生 学年末試験	1年生 H27「基礎・基本」
目標値		50%			60%	60%	50%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 41.0%, 県 50.2%)

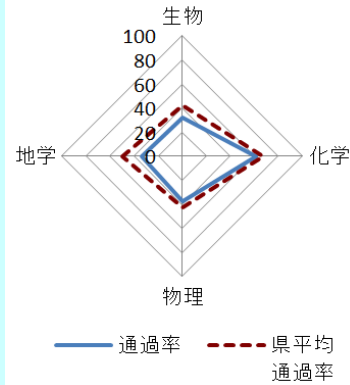
対県比 81.7%

学力定着実態調査 本年度正答率

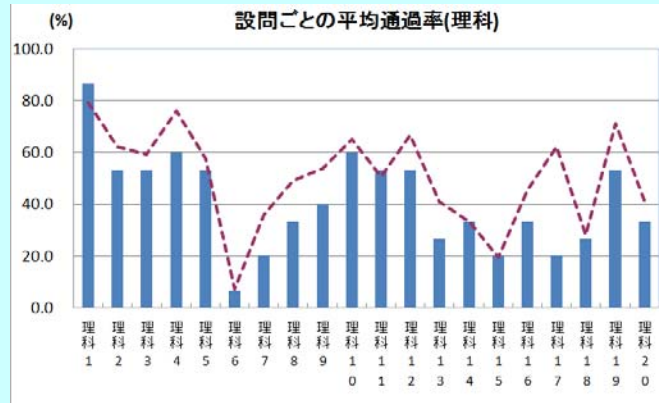
本校 66.2 %
全国 66.0 %
対全国比 100.3 %

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題
本校 55.7 %
全国 63.8 %
県 61.2 %

B問題
本校 42.0 %
全国 48.8 %
県 48.7 %

○全体的な傾向について
理科の結果において、タイプIは41.7% (昨年度48.6%)、タイプIIは40.0% (昨年度34.5%) の通過率となっている。この結果から、活用する力については、応用力の向上が図られていると考えられるが、一方では、基礎的・基本的な内容について昨年度より達成率が下がった。

○昨年度の課題への取組の成果
昨年度は、化学分野 (通過率34.5%) で課題が見られた。また、記述する問題の正答率は、領域を問わず低い傾向があった。そこで、観察・実験を行う際に、グループで結果予測の考えを交流する取組を行った。その結果、今年度は61.3%へと上昇した。

重点課題

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査 大問3 中間1 (領域: 生物)
植物のつくりについて、被子植物と裸子植物とを比べる問題に課題がある。子房の有無についてはわかっているが、その他の部分について理解できていない。(通過率6.7%) 無答率6.7%
- 【課題2】全国学力・学習状況調査 大問1 (1) 濃度 (領域: 化学)
特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求める問題に課題がある。(通過率24.1%) 無答率24.1%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
子房の有無についての説明だけでなく、生徒に比較させ発見させるように取り組む。ただ教えるだけでなく、生徒に主体的に考えさせ、知識の定着を図る。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査
水溶液にかかわる科学用語 (溶液, 溶媒, 溶質) について、授業の中で説明したり、用語カードを作成させたりして正確な理解を図る。質量の保存に関する内容と関連づけて、「溶液の質量=溶質の質量+溶媒の質量」の関係の理解を図る。その上で、計算問題の練習を繰り返し実施する。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験			2年生 H27「基礎・基本」	2年生 学年末試験	1年生 H27「基礎・基本」
目標値		50%			60%	70%	50%
実施後数値							

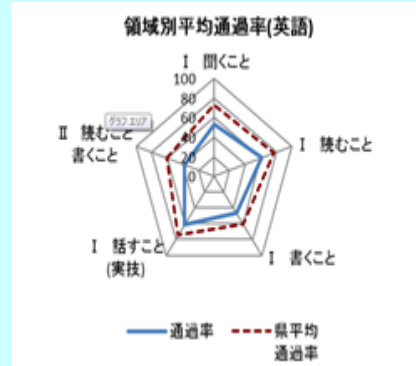
全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験		3年生 H27全国学力・学習状況調査	3年生 学年末試験		2年生 H27全国学力・学習状況調査
目標値		50%		60%	70%		50%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校51.3%, 県68.2%)

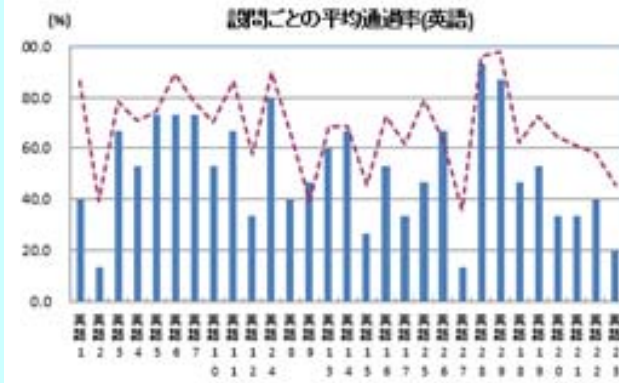
対県比 75.2%

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について
 タイプIは54.8%, タイプIIは37.8%の通過率となっている。この結果から、特に「書くこと」について課題が大きい。

○昨年度の課題への取組の課題
 昨年度もタイプIIの通過率が37.9%と低く、小テストで基本文の定着を図ってきたが、成果につながっていない。

重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 大問9小問2
 会話の場面に応じて適切に英文を書く問題に課題がある。(通過率26.7%)
 無答率の生徒が20%もいた。

【課題2】 大問10小問2
 つながりのある英文を書く問題に課題がある。(通過率33.3%)
 無答率の生徒が20%もいた。

【課題1】
 3人称単数現在の文における **doesn't** の用法が定着していない。帯学習として **Q and A** や、例文の主語を3人称単数に換えたり、疑問文や否定文に言い換える練習に取組ませる。

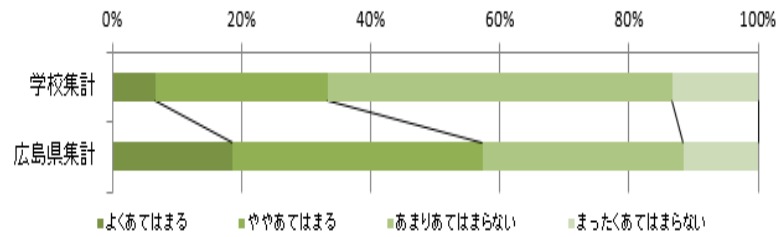
【課題2】
 基礎的な単語の定着をドリル学習、小テストなどで図る。
 3文日記に取組み、つながりのある英文を書くことを習慣づける。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験		2年生 期末試験		2年生 H27基礎・基本	1, 2年生 学年末試験
目標値		35%		40%		50%	60%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験		2年生 期末試験		2年生 H27基礎・基本	1, 2年生 学年末試験
目標値		35%		40%		50%	60%
実施後数値							

(1) 生活・学習

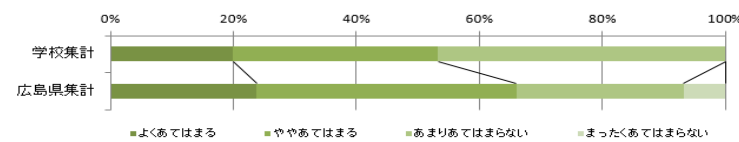
学校の授業の復習をするようにしています。



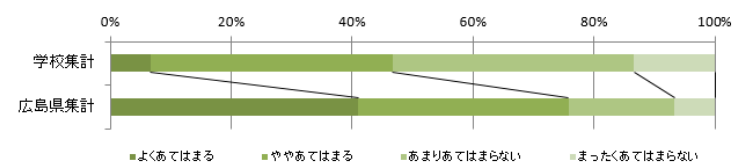
生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
復習・予習の習慣が定着していない。「学校の授業の復習をするようにしています。」の肯定的回答は 33.4%であり、家庭での復習が習慣化していない。	復習を意識させた適切な課題を与え、提出するという習慣をつけさせるために、家庭学習の課題の出し方を検討し改善する。 連絡版 (ボード) の記述化。(主体的に、課題意識をもって授業に臨む)	2年	60%	生徒のアンケート調査を実施する。	2月		

(2) 教科

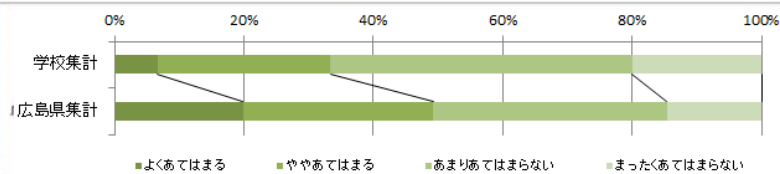
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしています。



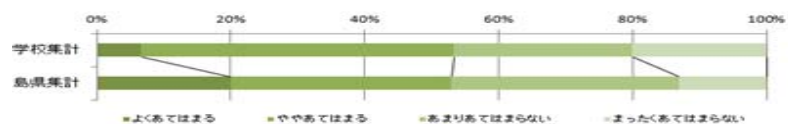
数学の授業は、よく分かりますか。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	肯定的回答率が 53.3% と低く、資料を活用して思考力・表現力を高めることができていない。	多様な資料の読み解き方を、具体例をもとに指導する。	2年	60%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
数学	肯定的な回答が 46.7% であり、「数学の勉強は好きです」を 6.6% 下回り、理解させる指導が必要である。	その日の授業の内容が、全員発表できる発問や展開を準備し、授業に参加できるものにする。	2年	70%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
理科	肯定的な回答の割合は 33.4% であり、自分の考えをまわりの人に説明させたり、発表させたりする指導が不十分である。	○自分の考えを既習事項の科学的根拠にもとづき整理しまとめ、理由づけをして説明させる。 ○具体的にどのようなキーワードを用いて表現することがゴールかを設定しておく。	2年	60%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
英語	肯定的な回答の割合は 53.4% である。聞いたり読んだりしたことについて Q and A で内容の確認はしているが、自分の考えを発表させる活動が不十分である。	3 文日記を書く取組みから、3~5 文で自分の考えを順序立てて述べるように指導する。	2年	70%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		